

(展開についての注意)

- * 前記の展開例を基本とし、必要に応じて追加・変更をしてください。
- * 時間はおおよその配分です。適当に調整してください。全体で2時間弱になります。
- * 各項目の「分かち合いのテーマ」にある質問は、たがいに繋がっている場合が多いですが、同じような内容を違った観点から取り上げている場合もあります。したがって、必ずしもすべての質問について分かち合う必要はありません。取り上げやすさや時間的な都合などによって、質問のつながりを配慮した上で適当に選択してもかまいません。
- * 「分かち合いのテーマ」の説明においては、必要に応じて、この「手引き」の「分かち合いのポイント」にある説明を付け加えてください。
- * 各項目の最後にある「参考資料」は、必要に応じて「展開 6)まとめ」で読み上げてください。

「分かち合い」で心がけたいこと!!

1. 自分自身や身の周りのありのままの現実を見つめ、実際に体験したことをもとに、無理をせず、率直に話そう。
2. ひとりで話したいだけ話すのではなく、相手の思いを真剣に聴くことを大切に。
3. ひとが分かち合ったことについて、批判や評価をしない。ありのままに受け止める。
4. ひとが分かち合った心の思い(秘密)は、大切に守る。
5. 話がテーマからそれないように、「悩み相談」にならないように、おたがいに注意を。
6. 参加者それぞれの口を通してキリストが語ってくださること、その場にキリストがともにいてくださることを感じ取ろう。

●「参考資料」で取り上げた文書

- ①第二バチカン公会議 『教会憲章』1964
- ②第二バチカン公会議 『信徒使徒職に関する教令』1965
- ③第二バチカン公会議 『教会の宣教活動に関する教令』1965
- ④第二バチカン公会議 『現代世界憲章』1965
- ⑤教皇パウロ六世使徒的勧告 『福音宣教』1975 カトリック中央協議会
- ⑥アジア司教会議連合(FABC)編
『教会奉仕職に関するアジア会議結論』1977 京都カトリック教理センター
- ⑦教皇ヨハネ・パウロ二世使徒的勧告 『和解とゆるし』1984 カトリック中央協議会
- ⑧教皇ヨハネ・パウロ二世使徒的勧告 『信徒の召命と使命』1988 カトリック中央協議会
- ⑨教皇ヨハネ・パウロ二世使徒的勧告 『アジアにおける教会』1999 カトリック中央協議会